

邦
Chapter
26
2010
1/17
日

■開場 13:30 ■開演 14:00

池田
卓
(唄・三線)

野崎洋一
(ピアノ)



池田 卓

沖縄の西表島が生んだ、若手島唄の実力派アーティスト・池田卓。
沖縄民謡から自作楽曲まで、八重山が育んだ唄声と三線は、聴く人の心にしみじみと響きます。
春が待ち遠しいこの季節、美ら島の音楽で温まってください。



野崎 洋一

池田 卓 沖縄音楽レクチャー

- 1月16日④ 19:00開始
(事前にお申し込みください)
- 参加費500円
(公演チケットをお持ちの方は参加無料)

すぐ目の前、手が届くところにある感動と発見。
ファンはもちろん、苦手な貴方にもお勧めのクラシック音楽入門篇。

クラシックのエントランス

黒部市国際文化センターカラーレ(マルチホール)

全席自由
珈琲・紅茶付

〈各 回〉 一 般：2,000円 高校生以下：1,000円
〈2回通し〉 一 般：3,000円 高校生以下：1,500円

主催/財団法人黒部市国際文化センター 共催/北日本新聞社
協賛/チューリップテレビ 後援/黒部市・黒部市教育委員会

- この公演は黒部市の助成により低料金でお楽しみいただけます。
- 未就学児の入場はご遠慮願います。
- 公演中の一時保育(無料)を希望される方は事前にご連絡ください。

プレイ
ガイド

カラーレ/黒部メルシー/魚津サンプラザ/入善コスモホール/
アーツナビ(新川文化ホール・富山県民会館・富山県教育文化会館・
富山県高岡文化ホール)

●お問い合わせ・チケットの申込み カラーレ

富山県黒部市三日市20番地 TEL.0765-57-1201 FAX.0765-57-1207
e-mail:info@colare.jp http://www.colare.jp/
開館時間：9:00~22:30(土曜~23:00)/毎週水曜休館

洋
Chapter
27
2010
2/21
日

■開場 13:30 ■開演 14:00

土屋
広次郎
(バリトン)

石橋尚子
(ピアノ)



土屋 広次郎

新進気鋭のバリトン歌手の張りのある歌声が、貴方の目の前で響き渡ります。
神が人間に与えた楽器、それはまさに「声の芸術」。
声の魅力を追求する多彩な声楽家・土屋広次郎が、
魅惑の声楽の世界へご案内します。



石橋 尚子

土屋 広次郎 声楽レクチャー

- 2月20日④ 19:00開始
(事前にお申し込みください)
- 参加費500円
(公演チケットをお持ちの方は参加無料)



池田 卓

IKEDA Suguru (唄・三線)

1979年5月24日、人口37人の船浮(ふなうぎ)という小さな集落で生まれ育つ。中学・高校は野球に没頭し、沖縄水産高校の投手として活躍するも、19歳の夏、島の芸能祭に参加したのをきっかけに本格的に音楽活動を開始。2000年10月「島の人よ」でCDデビュー。この曲が天気予報のBGMに起用され脚光を浴びる。2005年には「心色」で全国デビュー。八重山民謡アルバムを含め、これまで8枚のCDを発表。その楽曲はCMにも数多く起用され、メガネ一番、ジュエリーはちみね等のコマmercialでもおなじみ。

現在、沖縄を拠点に、ライブ、祭り、イベントと全国で活動する傍ら、ラジオ・パーソナリティーや講演活動、執筆、映画の主演を務めるなど、多方面で活躍中。2007年より、島への思いを込めて故郷・船浮にて音楽イベント「船浮音祭り」を企画・プロデュース。2008年に国際交流基金が主催する中東公演(シリア・ヨルダン・イエメン)にメインボーカルとして出演、また2009年7月には沖縄を代表するサルサバンド「カチンバクアトロ」のアメリカ・カナダツアーに参加、活動の幅をさらに広げている。

爽やかなルックスと熱い歌声、次代の沖縄音楽を担う若手アーティストとして最も注目されている存在である。



野崎 洋一

NOZAKI Yoichi (ピアノ)

東京都出身。ピアノ、キーボード奏者、作・編曲家としても活躍中。幼少の頃からピアノをはじめ、1989年、栗原良次のサポートメンバーとしてプロデビュー。以後、松田聖子、上妻宏光、沢田研二、石井竜也、宗次郎、近藤真彦、岡村孝子、D-51、池田卓、内田有紀、森口博子、石川よしひろ等、第一線で活躍するアーティストのステージを数多くサポート。また、レコーディング、セッション・ライブにも参加し、厚い信頼を集めている。最近では新人アーティストのプロデュースも積極的に行うなど活動の幅を広げている。



Entrance クラシックのエントランス for Classic



土屋 広次郎

TSUCHIYA Kojiro (バリトン)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科独唱科修了。二期会オペラスタジオマスタークラス修了。国際ロータリー財団親善奨学金によりイタリアに留学。

「フィガロの結婚」フィガロ、伯爵、「ドン・ジョヴァンニ」タイトル・ロール、レポレロ、「魔笛」パバゲーノをはじめとするオペラで活躍。新国立劇場、日生劇場をはじめ多くのオペラ団体において出演。パッハ「マタイ受難曲」、ベートーヴェン「第九」などのソリストとして活躍の他、キーロフ歌劇場(当時)首席歌手ミルトヴァなど多くのアーティストとジョイントリサイタルも行う。NHKで放映された音楽劇「円仁」では主演。近年、元々のジャンルレスな感覚により、トワエモワの白鳥英美子と共演するなどポップスにも活動を広げ、ボサノヴァギター伴奏による「ボサノヴァなイタリア歌曲」やヴァイオリンなどのアコースティック楽器伴奏によるジャズライブなどを開催し、さまざまな楽曲で声楽の可能性を追求している。

現在、フェリス学院大学音楽学部演奏学科専任講師。日本声楽協会アカデミー会員。横浜音楽文化協会会員。二期会会員。声の魅力を目指す独自のコンサート活動でも注目される多彩なアーティストである。



石橋 尚子

ISHIBASHI Naoko (ピアノ)

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学を卒業。ピアノを北村陽子氏に、ピアノ伴奏法をアンリエット・ピュイグ＝ロジェ氏に師事。大学卒業後にアンサンブルピアニストとして活動をはじめ、日本フルートコンクールびわ湖(現びわ湖国際フルートコンクール)において、4度にわたり最優秀協演賞を受賞。NHK教育テレビ、NHK-FMなどに多数出演し、多くのソリストのCD録音にも積極的に取り組んでいる。さらに、日本木管コンクール、国際オーボエコンクール、神戸国際フルートコンクールなどの公式伴奏者を務める他、国際クラリネットフェスティバルでも公式ピアニストを務め、各国のクラリネット奏者と共演。

近年は台湾・韓国・中国などのアジアに演奏の場所が広がっており、多くの演奏家から信頼を寄せられている。